

新春所感

午

2026年

合併70周年の感謝と

未来への展望

森町長

太田康雄氏



と発展を誓いました。

第1部の記念式典では、これまでの森町を振り返る動画の上映のほか、町の発展に貢献された功勞者の表彰、感謝状の贈呈、絵画コンクールの入賞者表彰、「森町のここが好き」をテーマとしたコメント動画の上映などを行いました。

第2部では、森町出身の日本画家・松井冬子さんと近代日本美術史家・八柳サエさんの対談形式による記念講演を行い、600人の聴講者のもと、松井冬子さんが画家を志したきっかけなどが紹介されました。この節目を多くの皆様と祝う事ができ、森町への愛着と誇りを深める事ができたと感じております。

さて、本年はさらなる交流と活性化を目指し、いくつかの新たな取組を進めてまいります。

「遠州の小京都リノベーション推進計画」では、明治時代に台湾と静岡で、烏龍茶・紅茶産業の発展に尽力した藤江勝太郎氏の生家の改修が完了します。この歴史的建造物が文化交流・国際交流の新たな

な拠点となり、多くの皆様に訪れていただき、藤江勝太郎氏の功績を知っていただく事を期待しています。

さらに、民間活力との連携として、ヤマハ発動機株式会社と地域活性化の取組を進めていきます。

現在「e-Bikeのふるさと森町」をテーマに、森町体験の里アクティ森にマウンテンバイク(MTB)パークの設置を進めており、今年度中の完成を目指しています。自然豊かな環境でMTBに触れ、体験していただける場となる事でしよう。

また移住・交流対策として都会と森町に2つの生活拠点を持つ新しいライフスタイルを促進する「二地域居住」を推進していきます。

さらに、昨年から都心部に暮らす人が森町の中山間地の生活を体験する「生活価値体験ツアー事業」を実施しており、地域との交流を通じて森町ならではの生活価値を見つけてもらえるよう取り組んでいます。

これらの事業を通して、地域資源を最大限に活用した新たな人の流れや交流人口、関係人口を生み出す仕組みづくりを目指します。

本年も、活力ある持続可能なまちづくりのために各種施策を展開していきますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が幸多き年となります事を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健康やかに新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は振り返りますと、国内では、6ヶ月にわたって大阪・関西万博が開催され、日本の技術と文化が世界へ向けて発信されました。また、7月の参議院選での自民党の大敗による石破首相の退陣から政治の混乱が続きましたが、10月には初の女性首相による高市内閣が発足しました。12月には18兆3千億円の補正予算が編成され、重点支援地方交付金が2兆円追加されるなど、物価高騰対策の効果も期待されています。

海外では、トランプ氏が米国大統領に返り咲き、その独特な政治手法により世界各国に大きな影響を与える事となりました。

そんな中、森町では合併70周年を迎え、記念行事を開催し、将来に向けて更なる飛躍